



香川の  
土地改良

発行所  
香川県土地改良事業団体連合会  
高松市番町2丁目4番27-301号  
TEL(087)822-0303  
FAX(087)851-1787  
<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



神内池（高松市西植田町）

平成21年11月18日撮影

### 目次

1. 新年のご挨拶	香川県土地改良事業団体連合会 会長 大山 茂樹 ……2
	四国土地改良調査管理事務所 所長 田中 久二 ……3
	香川用水土器川沿岸農業水利事業所 所長 有瀧 昇吾 ……4
	香川県農政水産部 部長 西原 義一 ……5
	香川県農政水産部土地改良課 課長 黒川 義夫 ……6
	香川県農政水産部農村整備課 課長 高尾 武司 ……7
2. 平成21年度農地利用集積推進対策会議	……8
3. 平成21年度第2回土地改良管理指導事業推進委員会管理専門指導員会	……8
4. 「ため池百選」一般投票開始／会と催し	……9



## 新年のご挨拶

香川県土地改良事業団体連合会

会 長 大 山 茂 樹

新年明けましておめでとうございます。

会員各位をはじめ、農業・農村整備事業の関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、平素、本会の運営に対しまして、格別のご指導、ご支援を賜っておりますことに衷心より厚くお礼申し上げます。

なお私事、池田前会長の退任に伴い昨年 12 月 22 日より会長として、その職務を務めさせていただいておりますが、本県の農業・農村の更なる振興・発展に努めて参る所存でありますので、今後とも皆様方のご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて近年においては、国際的な貿易の自由化や産地間競争の拡大などに伴う農産物価格の低迷、担い手の高齢化や後継者不足などによる耕作放棄地の増加、更には農村の過疎化や混住化等が進行し、集落機能の低下に加え、食料の生産基盤である農業水利施設が更新時期を迎え、その適切な保全・管理が危惧されるなど、農業・農村を取りまく環境は極めて厳しいものがあります。

このような中、食料、農業、農村に関する施策が大きく変わる、新たな時代を迎え、食料供給力の強化と農業・農村の振興を図るため、社会共通資本である農地や農業水利施設の保全に努め、水田農業の再生と食料自給率の向上とともに、国土の保全や水源の涵養などの多面的機能を有する農村地域の活性化に関する施策の推進が強く求められております。

本会といたしましても、関係予算は非常に厳しい状況ではありますが、安全・安心な食料の安定供給や農業・農村の振興という県民の期待に応えるため、国、県、市町、土地改良区等と連携しながら、農業の戸別所得補償制度モデル対策と併せて、農地の再生や農業水利施設の補修整備の支援に取り組むなど、本県農業の持続的な発展に積極的に協力・支援していくこととしております。

このうち、平成 19 年度から実施しております「水土里情報利活用促進事業」につきましては、地図情報（WebGIS）によるデータベースの構築が順調に進んでおり、平成 22 年度から運用を開始し、担い手の育成に向けた農地の利用集積の促進をはじめ、耕作放棄地の解消や水田をフルに活用した戦略作物の増産による食料自給率の向上、農業水利システムの適切な管理の促進など、農業・農村の振興・発展に寄与して参りたいと考えております。

また、「農地・水・環境保全向上対策」につきましては、将来の管理体制の構築に向けた取組みに加え、地域の実情に即し、創意工夫を生かした活動がより一層推進されますよう、積極的に支援して参りますとともに、国営事業の「香川用水土器川沿岸地区」や「香川用水地区」につきましては、厳しい予算の中ではありますが、本格的な工事着手により、地域農業の振興が図られるものと考えております。

水土里ネット香川といたしましては、これらの業務を通じて会員各位のご期待に応えられますよう、役職員一丸となって頑張る所存でありますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の今年一年のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



## 年頭のご挨拶・地域の活力創造に向けて

中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所

所 長 田 中 久 二

新年、あけましておめでとうございます。

このたび、平成 21 年 12 月 16 日付けで中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所長を拝命しました田中でございます。四国地方の勤務は初めてですが、宜しくお願いします。

旧年中は、国営造成土地改良施設整備事業「香川用水地区」の新規着工に際して、ご支援・ご協力を賜り感謝する次第です。

農村においては、人口流出による人口減も含め、少子高齢化が著しい地域が至るところでみられ、地域の活力創造が喫緊の課題となっています。

また、地域の重要な産業である「農業」を支える農業水利施設も整備されてからの年数経過により老朽化が進行している状況にあり、ストックマネジメント事業等の活用により、施設の長寿命化を図るなど取り組んでいるところであります。

平成 22 年度から、戸別所得補償制度のモデル対策、農山漁村の 6 次産業化、農山漁村の活性化施策などの新たな施策に取り組むことにより、水田農業において、できる限り農業所得を確保することにより地域の活力創造をしていくこととなります。

地域の活力創造の中で、農業者自身が自主的かつ継続的に農業水利施設を維持管理し得る状態まで、どのようにしたら STEP UP できるのかを地域農業者の皆様、各水土里ネット、市町、県、国がそれぞれの立場で知恵を出し、その知恵を総合して地域独自のあり方を見つけ出す、そういう時代に来ているのではないのでしょうか。

当調査管理事務所は、農林水産省の農業農村振興にかかる地域の身近な相談窓口として地域の様々な課題をお伺いし、その解決に向けて共に汗をかきながら努力して参りたいと考えていますので、どうか本年もよろしく申し上げます。



東西分水口の四季



## 新年のご挨拶

中国四国農政局香川用土器川沿岸農業水利事業所

所長 有 瀧 昇 吾

新年あけましておめでとうございます。平成 22 年の新春を迎え謹んでご挨拶申し上げます。

水土里ネット香川の会員の皆様には、国営農業用水再編対策（地域用水機能増進型）事業香川用土器川沿岸地区並びに国営造成土地改良施設整備事業香川用水地区の事業推進にあたりまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、一昨年と同様に早明浦ダムの貯水量が激減し、香川用水の取水制限や上水道の給水制限が長期間にわたりましたが、特に、6 月末から 7 月はじめにかけては、ため池貯水や香川用水の 1/2 カットなど厳しい状況となり、水稻作付けが一部地域で遅延するなど大変心配されました。その後の降水等で何とか農業への大きな被害も発生せず、乗り越えられましたが、改めて”水”の大切さを実感したところであります。

また、8 月には国営農業用水事業促進中国四国協議会が当地丸亀市で開催され、勝部会長（島根県斐川町長）をはじめ中国四国農政局幹部、関係各県、市町村、土地改良区等多数の参加により事業推進に向けた意見交換など盛会に開催されました。翌日の現地視察では、香川用土器川沿岸地区の大川頭首工、満濃池など讃岐平野を代表する農業水利施設の状況や水路改修工法など事業を広く理解いただけるよい機会となったと考えます。

一方、農業関係では、うどん用小麦「さぬきの夢 2000」の後継品種として、栽培しやすく高収量が期待される「香育 2 1 号」が決定されました。うどん試食会でも高い評価であったと聞き、栽培面積の早期拡大が期待されています。

さて、当事業所におきましては、造成後 30 有余年を経過した香川用水施設の一部において早急な改修の必要性が生じておりましたが、昨年 3 月の香川用土地改良区総代会において国営による施設整備が決議され、国営事業の施行申請が行われ、総事業費 30 億円、事業工期 6 年間の国営造成土地改良施設整備事業香川用水地区が昨年 5 月 1 日付けでスタートいたしました。事業の着手に当たりましては、香川用土地改良区理事長（県議会議員）組橋啓輔様をはじめ、香川県、関係市町、土地改良区ほか関係する皆様方には大変ご尽力をいただきましたことに感謝申し上げます。

また、5 月 20 日に開催いたしました「開所式」には、香川県議会経済常任委員長辻村修様、香川用土地改良区理事長組橋啓輔様、香川県農政水産部長西原義一様、観音寺市経済部長三好治夫様、香川県土地改良事業団体連合会常務理事山地孝士様をはじめ多くのご来賓のご臨席を賜り、盛会に開催できましたことを重ねてお礼申し上げます。

現在、改修工事に向けた調査、測量、設計とともに関係する行政機関、地元関係者との各種協議、調整など工事の準備を進めているところであります。

一方、一昨年に事業スタートいたしました香川用土器川沿岸地区では、年明けから幹線水路改修工事を実施して参ります。地元の皆様をはじめ、香川県、関係市町、土地改良区、水利組合の皆様方には大変なご尽力、ご支援をいただきありがとうございました。

両地区の事業推進につきまして、事業所職員一丸となって地域の皆様方のご期待に応えるよう、精一杯努力して参る所存でおりますので、関係者の皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご多幸とご発展をご祈念申し上げまして新年の挨拶といたします。



## 新年のご挨拶

香川県農政水産部

部長 西原 義一

平成 22 年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、大山新会長様をはじめ香川県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には、農業農村整備事業の推進はもとより、農政各般にわたり格別のご理解、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

近年、食の安全・安心に対する消費者の関心や穀物を中心とする調達リスクの高まりなど、食料を取り巻く国内外の情勢が大きく変化しており、将来を見据えた食料供給力の強化が求められています。

ご承知のとおり、農業・農村は、食料の安定供給はもとより、農業生産活動を通じて国土や自然環境の保全、さらには地域の伝統文化の継承など多面的な役割を担っております。

しかしながら、農産物価格の低迷や、農業従事者の急激な減少、さらには農村の過疎化・高齢化の進行など、農業・農村を取り巻く情勢はこれまでも増して厳しくなっており、わが国農業・農村の持続的な発展を図り、良好な状態で次世代に継承していくことが喫緊の課題となっております。

このような状況の中、国では、平成 23 年度の本格実施に向け、来年度から米の戸別所得補償モデル事業を実施するなど農家への助成制度の見直しを行うとともに、より実効性のある食料自給率の向上や農村の活性化を目指した新たな「食料・農業・農村基本計画」が策定されているところです。

こうした国の動向や本県農業・農村の情勢変化と農家の意向を踏まえ、これまで県では、「独創性豊かで、多彩な香川型農業の確立」と「みどり豊かで、うるおいと活力のあるむらづくり」の実現のため、様々な施策を積極的に推進しているところですが、現行の「香川県農業・農村基本計画」に代わる、新たな基本計画の策定に取り組むこととしております。

農業農村整備事業は、これら施策実現の基礎であります。このため、地域の特性を活かした生産性の高い農業の確立と魅力ある農村づくりに向け、良好な営農条件を備えた農地の整備をはじめ、ため池や農業用水路など農業生産基盤の整備とあわせ、農業を核とした地域の活性化を図るための生活環境基盤の整備に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

とりわけ、水事情に恵まれない本県では、数多くのため池や農業用水路が造られていますが、その多くが更新時期を迎えており、その保全・整備が強く求められております。

このため、安全・安心の確保の面からも中山間地域に偏在する多数の未整備ため池を中心に、「老朽ため池整備促進第 9 次 5 か年計画」に基づき計画的な整備促進を図るとともに、老朽化した農業用水路については、適確な施設診断等に基づく補修・改修を行い、長寿命化を図ってまいらなければなりません。

また、中山間など条件不利地域については、地域の特色を活かした持続可能な農業の確立と農村の活性化のため、きめ細かな農業生産基盤と生活環境基盤の総合的・一体的な整備促進に努めるなど、今後とも、貴連合会をはじめ土地改良区の皆様方との緊密な連携の下、農業農村整備事業の推進に取り組むたいと考えておりますので、なお一層のご協力をお願い申し上げます。

貴連合会の益々のご発展と会員皆様のご健勝・ご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

香川県農政水産部土地改良課

課長 黒川 義夫

明けましておめでとうございます。

平成 22 年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

大山会長様をはじめ香川県土地改良事業団体連合会並びに会員皆様方には、本県農業農村整備事業の推進に格別のご支援・ご協力をいただき、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、ご承知のとおり、昨年暮れに平成 22 年度政府予算案が閣議決定され、農林水産省全体では、安全、安心な食の供給と農業・農村の振興のための「戸別所得補償制度モデル対策」や「農山漁村の 6 次産業化」、「農山漁村の活性化対策」などを柱に、対前年度比 95.8%にあたる約 2 兆 4,500 億円、また農業農村整備事業を含む一般公共事業予算は、対前年度比 65.3%にあたる約 6,371 億円となっております。

このうち、農業農村整備事業関係予算は、対前年比 36.9%と大幅な縮減となっているものの、農業水利施設の更新・保全管理など農地・農業用水の確保に重点化されるとともに、地域の創意工夫を活かした農山漁村地域の総合的な整備促進のため、地方の裁量により公共事業予算を配分できる「農山漁村地域整備交付金」が新たに創設されております。この交付金は、県や市町が農山漁村地域のニーズに即した整備計画を自らが策定し、農業農村整備をはじめ、森林、水産各分野における公共事業を自由に選択して総合的・一体的な整備を行うもので、今後の国と地方の役割分担も見据えた自由度の高い交付金であります。

このように、食料・農業・農村に関する政策や国と地方の役割が大きく変化しようとする今日、農業農村整備の新たな展開にあたっては、限られた事業予算のより一層の重点化・効率化を図るとともに、土地改良区などが主体となって「地域が自らの知恵と創意工夫で地域をつくる」ことを基本に、水と土の絆で築き上げられた地域の「共」の機能を十分発揮しながら、農地や農業用施設の適切な保全管理を通じて豊かな農業農村を次世代に継承することが求められております。

本県では、これまでに整備した総延長約 1,200km にのぼる基幹水利施設をはじめ、数多くのため池やこれに連鎖する農業用水路があり、農業生産基盤のみならず地域の社会資本として極めて多様な役割を担っておりますが、これら施設の多くが造成後相当年数を経過し、更新時期を迎えようとしております。このため、国の動向も見極めながら、「老朽ため池の整備」や「農業水利施設の更新・保全管理」などの主要課題に積極的に取り組むとともに、本県農村地域の特性を踏まえ、ほ場や農道などのきめ細やかな基盤整備を推進し、生産性の向上とあわせて農業・農村が有する多面的機能の保全を図る必要があると考えております。

今後とも、貴連合会をはじめ土地改良区の皆様方との緊密な連携の下、ご意見やご要望を十分拝聴しながら、効率的かつ効果的な農業農村整備事業の推進に努めますので、なお一層の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

貴連合会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

香川県農政水産部農村整備課

課長 高尾 武司

あけましておめでとうございます。平成 22 年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、香川県土地改良事業団体連合会の会員の皆様方には、農業農村整備事業の推進に格別のご支援、ご尽力を賜わっておりますことに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

ご承知のとおり、現在、国では、本年 3 月の策定に向け、新たな食料・農業・農村基本計画の見直し作業が行われています。その中で、中長期的に世界の食料需給のひっ迫が見込まれる一方、我が国の農業生産構造の脆弱化や農村地域の疲弊が深刻化している状況にある中、我が国の農業の持続可能性を確固たるものにし、我が国のみならず、世界全体の食料需給の安定化に関する観点から、現行の食料・農業・農村政策についてあらゆる角度から見直しが行われています。一方、県におきましても、「独創性豊かで、多彩な香川型農業の確立」と「みどり豊かで、うるおいと活力のあるむらづくり」の実現を目指して、平成 22 年度を目標とする「香川県農業・農村基本計画」を平成 17 年に策定し、農地やため池などの生産基盤づくりや活力ある農村づくりなどに積極的に取り組んできたところであります。平成 22 年度は、食の安全や食料自給率の向上に対する県民の期待が高まるとともに、農地法等の改正に伴い多様な主体による農業参入も可能となったことなど、様々な社会情勢の変化や国の新たな基本計画を踏まえ、新たな「香川県農業・農村基本計画」の策定に取り組んでまいります。

また、昨年 12 月 25 日に閣議決定された平成 22 年度予算（案）において、農村振興局関係予算は、食料の安定供給に不可欠な用排水施設の更新や農地の排水対策に重点化するとともに、中山間地域の振興のための生産条件整備や安全・安心を確保する防災対策などは、新たに創設された「農山漁村地域整備交付金」の活用により対応することとなりましたが、非常に厳しい予算案となりました。

一方、農業生産の基礎であり、食料の安定供給にとって重要な基盤である農地や農業用水路等の保全管理施策である「中山間地域等直接支払制度」や「農地・水・環境保全向上対策」については、前年度を上回る予算が確保されました。なかでも、中山間地域等直接支払制度は、高齢化の進行にも配慮したより取り組みやすい制度に見直され、平成 22 年度から第 3 期対策がスタートします。とりわけ、本県が要望しておりました 1 ヘクタール未満の飛び団地が交付対象になることをはじめ、分家住宅の建設に伴う交付金の遡及返還要件の緩和、高齢農家も安心して参加できる地域ぐるみの取り決めによる集团的サポート型の新設などの拡充を受け、県では、各種の中山間関係事業による生産条件等の整備と組み合わせ、農業の振興はもとより、農業生産活動の維持を通じて、耕作放棄地の発生防止に積極的に努めてまいりたいと考えています。また、農地・水・環境保全向上対策については、昨年実施しました中間年評価を踏まえ、耕作放棄地等の解消に向けた取り組みをはじめ、ため池の藻の除去や池干しなど、地域自らの創意工夫を活かした取り組みのさらなる展開など、地域ぐるみでの効果的な取り組みとともに、取組面積の拡大に努めてまいりたいと考えていますので、皆様方のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴連合会のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 平成 21 年度農地利用集積推進対策会議

去る 12 月 10 日、本会会議室において香川県農地利用集積推進対策会議が開催された。

開会にあたり委員長である水土里ネット香川山地常務理事から出席者へのお礼の後、本会議が平成 17 年度に制定された「水土保全強化対策事業」において展開される「農地利用集積推進対策事業」で、ほ場整備等事業完了地区での利用権設定による面的集積を推進し、担い手農家の育成及び農業生産法人の設立等地域営農の確立を推進するため設立されたものであり、平成 22 年度に一層の利用集積を図るべく拡充される予定であるので、ほ場整備等基盤整備事業完了地区での利用集積を進めるためご協力をお願いしたいと挨拶した。

協議に先立ち人事異動による委員の変更があったため事務局より各委員の紹介があり、その後協議に移り、副委員長の選任については、本会の湊参事が選任された。引き続き平成 20 年度農地利用集積推進対策事業実績報告、平成 21 年度農地利用集積推進対策事業計画（案）について協議され、推進地区の状況等の質疑の後いずれも原案どおりに承認された。



## 平成 21 年度第 2 回土地改良管理指導事業推進委員会管理専門指導員会



去る 12 月 18 日、本会会議室において平成 21 年度第 2 回土地改良管理指導事業推進委員会の管理専門指導員会が開催された。

香川県農政水産部土地改良課黒川課長臨席のもと、平成 22 年度土地改良施設維持管理適正化事業新規加入地区 8 施設の補修計画並びに年度別実施計画について協議を行った。

### 平成 22 年度新規加入予定地区

- ・ 高松市十河土地改良区（頭首工） 導道井堰
- ・ 仲多度郡琴平町（頭首工） 大宮
- ・ 多度津町土地改良区（樋水門） 庄羽根ヶ浦
- ・ 綾歌郡綾川町（揚水機） 今滝
- ・ 三豊市（樋水門） 詫間水門（排水機） 三野左岸排水機（畑かん） 麻畑かん
- ・ 三豊干拓土地改良区（排水機） 三豊干拓排水機



# 「ため池百選」一般投票開始

ため池は、地域における文化、生物生息の場、ふれあい・やすらぎの場、さらには教育環境の場など多様な役割を有しています。これらの多様な役割とその保全の必要性について、国民の皆様のご理解とご協力をいただくための契機として、現在、国では「ため池百選」を選定しています。

全国の約 21 万箇所のうち、287 箇所が一般投票の対象となっており、これらのため池に対する皆様からの貴重な投票をもとに、選定委員会にて「百選」が選定されます。

一般投票の対象となる 287 箇所のうち、本県からは満濃池をはじめとする 19 箇所が対象となっています。

## ○投票期間

平成 22 年 1 月 8 日（金曜日）～平成 22 年 2 月 8 日（月曜日）

投票の締め切り

インターネットの場合：2 月 8 日（月曜日）の着信分まで有効

はがき郵送の場合：2 月 8 日（月曜日）の消印のあるものまで有効



丸亀平野のため池群

## ○投票の対象

一般投票の対象ため池 287 箇所

（このうち香川県内のため池は 19 箇所です。）

### 一般投票の対象ため池一覧（県内ため池抜粋）

香川県	公渕池（高松市東植田町）久米池（高松市新田町）小山池（高松市植松町） 三郎池（高松市三谷町）新池（高松市香川町）平池（高松市仏生山町）宮池（さぬき市長尾町） 宮奥池（東かがわ市白鳥町）山大寺池（三木町）蛙子池（土庄町）宝幢寺池（丸亀市郡家町） 丸亀平野のため池群（丸亀市川西町～郡家町）買田池（善通寺市与北町） 大池（善通寺市善通寺町）満濃池（まんのう町）井関池（観音寺市大野原町） 一ノ谷池（観音寺市中田井町）豊稔池（観音寺市大野原町）国市池（三豊市高瀬町）
-----	---

※投票方法など、ため池百選の詳しい情報は「農林水産省HP ため池百選」のページをご参照ください。

【 URL : <http://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/tameike/> 】

## 会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催月日	会 の 名 称
12 月 11 日	三豊市担い手育成総合支援協議会担当者会議 （三豊市）	17 日 ～18 日	平成 21 年度農業集落排水事業担当者 全国研修会 （東京都）
15 日	香川県農業会議常任会議員会議 （高松市）	18 日	香川県水田農業振興協議会総会 （高松市）
16 日	平成 21 年度第 2 回監事会 （高松市）	〃	平成 21 年度第 2 回土地改良管理指導事 業推進委員会専門指導員会 （高松市）
17 日	香川県農地保有合理化緊急売買促進 事業対策会議 （高松市）	21 日	第 144 回理事会 （高松市）
〃	丸亀市土地改良区会計担当者説明会 （丸亀市）	24 日	香川県農業・農村審議会 （高松市）
17 日 ～18 日	平成 21 年度農業農村整備技術強化 対策事業調査計画研修会（鳥取県）	〃	平成 21 年度第 9 回観音寺市地域担い手 育成総合支援協議会幹事 （観音寺市）

# 賀 春

新年あけましておめでとうございます  
本年もよろしくお願ひ申し上げます  
平成 22 年元旦



## 香川県土地改良事業団体連合会

(水土里ネット香川)

会 長	大 山 茂 樹	代 表 監 事	森 川 光 典
副 会 長	組 橋 啓 輔	監 事	北 原 和 夫
常 務 理 事	山 地 孝 士	”	稲 尾 正 成
理 事	石 原 收	顧 問	猪 熊 薫
”	十 川 昭 五	参事・事務局長	湊 敏 好
”	泉 川 静 雄	総 務 課 長	野 瀬 康 弘
”	三 笠 輝 彦	調 査 設 計 課 長 (兼)農 業 集 約 排 水 課 長	鎌 田 忠
”	谷 久 嘉 典	換 地 登 記 課 長	林 貢 一
”	松 岡 正 博	企 画 指 導 課 長	多 田 竹 夫
”	千 葉 宗 和	電 算 課 長	大 河 仁 司
”	山 下 正 臣	ほか職員一同	

### 大川支所

(兼)支所長 上 原 秀 雄  
支所次長 武 下 幸 徳

### 小豆支所

(兼)支所長 鎌 田 忠

### 中部支所

支 所 長 上 原 秀 雄  
主 幹 安 川 哲 生

### 仲多度支所

支 所 長 内 海 幾 夫  
支 所 次 長 太 田 久 夫  
” 岡 賢 治

### 三豊支所

支 所 長 高 木 康 博  
支 所 次 長 前 川 公 則

ほか支所職員一

